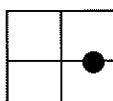



事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		2,182,000円	3,738,901円	4,337,000円					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	1,454,666円	2,492,600円	1,000,000円					
	一般財源	727,334円	1,246,301円	3,337,000円					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	事業を活用した新規転入者	事業効果の指標として適当	人	目標	15	20	65	
					実績	22	65	79	
					目標達成率(%)	146.7	325	121.5	
	②				目標	-	-	-	
					実績	-	-	-	
目標達成率(%)					-	-	-		

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価 (公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		(必要性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		必需 (+) 私益 (-)  公益 (+) 選択 (-)
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等)		

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		移住促進のための補助制度や空き家バンク制度など、移住に係る取組みが本格化して3年目となり、外部に発信してきたこれらの移住希望者に向けた支援制度が呼び水にもなったほか、組織編制による相談体制の強化等によりU I ターン者が増えた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
	実施予定 期 日 H30. 4	移住・定住者向けに補助制度や“空き家バンク”制度等の支援策について情報発信に努める一方、“住まい”についても、受入の体制を強化する必要がある。 本市に移住したくても、条件に合う物件がなかなか見つからないのが現状であるため、よりマッチングが図れるよう空き家バンク登録物件数を増やしていく事が課題であり、空き家所有者側へのアプローチに努めていく。		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		人口増加に関する事業がない。		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		現状ではこの事業の民間委託化や非常勤化等にメリットを見出せない。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		地域間競争もあり受益者負担の見直しは難しい。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	<p>今後も継続して移住・定住者向けの新たな補助制度や“空き家バンク”制度の更なる周知・情報発信に努める一方、“空き家バンク”の物件登録件数の拡大に努めていく。</p> <p>また、移住希望者に対し情報提供・定期的な相談・案内等をきめ細やかに行い、移住希望者の不安解消あるいは移住希望者と担当者との信頼関係の構築に努め、移住に繋げていく。</p> <p>なお、I ターンとなる移住希望者については、本市を事前に訪れた際に、相談者に応じた先輩移住者を紹介し、移住に係る参考意見を聞く機会を与えるだけでなく、移住する前に人との繋がりを事前に作ることで、移住しやすい環境を整えていくことに寄与する。</p>				